

1
/ 17

東海第二原発は 廃炉にせよ――

村上達也元東海村村長は語る

近い 古い 東海第二原発

茨城県東海村の東海第二原発は
150キロ圏に首都圏がすっぽり収まるが近さです。
運転40年を超える老朽原発ですが
さらに20年運転延長が認められ
今、再稼働に向けて工事が進んでいます。

1999年、日本で初めて原子力事故事故被曝死者を出した

JOC臨界事故と

2011年、メルトダウンした福島第一原発事故。

両事故当時の東海村村長として
どのような状況判断と対応をされたか
どのような教訓を得られたか得られたか
お話をうかがいます。



講師 村上 達也さん

1943年生まれ。1997年常陽銀行支店長から転じ東海村村長に就任。2013年9月退任。
元全国原子力発電所所在市町村協議会副会長。



地図出典 常総生活協同組合ニュースレター 2014年4月

日 時 2021年1月17日(日) 14時~16時30分

場 所 西東京市柳沢公民館 視聴覚室(西武新宿線西武柳沢駅南口徒歩1分)

定 員 40人 【要申込】2020年12月2日(水)9時~

原発はいらない西東京集会実行委員会 柳田 ☎ 042-461-3246

資料代 100円

共 催 原発はいらない西東京集会実行委員会

<http://nonuke-ntyo.cocolog-nifty.com/>

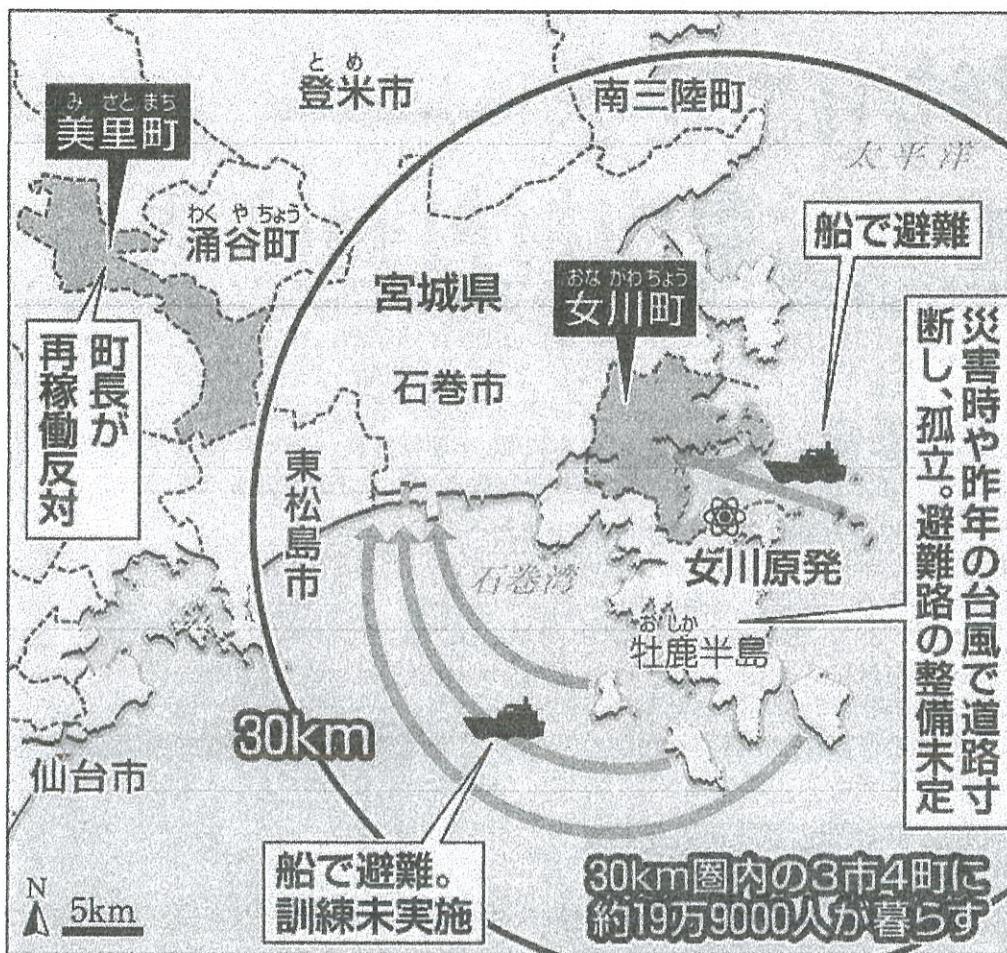
E-mail : nonuke-ntyo@nifty.com twitter:@nonuke_ntyo

西東京市公民館



安全はどこにもなかった！

狭い地震国日本に中間処理場はもちろん最終処理場も国内には難しい。
廃炉作業を含む原発労働は多くの犠牲の上に成り立っている。それでもなぜ再稼働？



福島事故後10年目も除染継続……………廃炉までの遠い道

福島第一原発事故から10年目。2020年11月郡山市の公園は紅葉と水鳥のゆったりとした風景だが、池の向こうに見えるのは……?近づいてびっくり!池の南側では、市の委託で除染作業の最中でした。ひっそりと。

池の北側の線量は0.142。こうした現状はほとんどマスコミには上がってない。百聞は一見に如かず、自分の目で確かめてほしいと切に思う。0.142という線量は決して安全とは言えない。因みに西東京市の公園では0.07~0.04だった

